

平成30年11月17日

各位

杜の都信用金庫

平成30年度 上半期(4月1日～9月30日)の業績等について

杜の都信用金庫の平成30年度上半期(4月1日～9月30日)の業績等についてお知らせいたします。

【1】収益面について

◇ 業務純益は前期並みとなりましたが、当期純利益は減益となりました。

(単位：百万円・%)

	経常収益		経常利益		業務純益		コア業務純益		当期純利益	
		増減率		増減率		増減率		増減率		増減率
30年9月	3,912	△11.8	621	△43.8	1,363	0.0	869	5.4	372	△45.9
29年9月	4,439	1.1	1,105	△15.3	1,362	△17.3	825	12.6	689	△19.2

金融機関の本来業務の収益力を示すコア業務純益は増益となりましたが、経常収益が有価証券関係収益等の減少により減収となり、経常利益、当期純利益は与信関係費用の増加などにより減益となりました。

【2】業容面について

◇ 預金残高、貸出金残高ともに増加しました。

(単位：百万円・%)

	預金				貸出金			
	平残	増減率	末残	増減率	平残	増減率	末残	増減率
30年9月	490,431	8.3	513,146	4.5	333,235	9.6	338,331	4.4
29年9月	452,464	6.9	490,597	6.2	304,024	23.2	323,850	22.4

預金は、懸賞付定期預金や定期積金などの企画商品がご好評をいただいたことなどから、平残・末残ともに増加しました。

貸出金は、震災復興に向けた支援融資など、積極的に資金供給に取り組んだことなどから、平残・末残ともに増加しました。

【3】健全性について

◇ 地域金融機関として十分な健全性を維持しています。

	自己資本比率		不良債権比率	
30年9月	8.55%	0.43ポイント上昇	3.11%	0.58ポイント上昇
29年9月	8.12%		2.53%	

※不良債権比率については、金融再生法に基づき開示しております。

杜の都信用金庫は、「うれしいこと、一緒に。」を合言葉に、復興支援と地域活性化のために積極的に取り組んでまいります。